

## 外部評価の平成28年度予算案への反映状況

No.	事業名 (予算事業名) 担当課・事業区分	評価結果及び 概要等	評価結果を踏まえた 今後の方針 (平成27年12月策定)	平成28年度 予算措置の概要等	当初予算額(単位:千円)					
					平成28年度		平成27年度		増減	
					一般 財源		一般 財源		一般 財源	
1	射水市地域振興会連合会補助金  (地域振興費) まちづくり課  評価シート 補助金事業 No. 055	本事業は、市民協働の理念を広く地域に浸透させるために必要な事業である。そのためにも、地域振興会連合会の活動内容や活動の成果が広く市民にフィードバックされるよう、同会の取組について情報を積極的に公開されたい。 併せて、今後、地域の声を市政に反映させる地域振興会連合会の役割は更に重要となってくることから、同会の機能強化策についても検討されたい。	射水市地域振興会連合会の活動について、市ホームページ等を活用し積極的に公開していく。 また、自主性を高める等、同会の機能強化を図っていく。	従前のとおりとする。	1,400	1,400	1,400	1,400	0	0
2	コミュニティバス運行費  (コミュニティバス運行費) 生活安全課  評価シート ソフト事業 No. 080	コミュニティバスの利用促進のためには、コミュニティバスを必要としている方に狙いを定めた事業戦略が重要である。そのためには、利用者や地域の声はもとより、利用していない方の意見も拾い上げ、コミュニティバスに求められているニーズに合わせた、路線・ダイヤ編成、車両の選定等の柔軟な運行により利用者の利便性の向上に努められたい。 併せて、引き続き車両の小型化や複数のバス路線をグループ化した運行業務委託契約などのコスト削減や業務の効率化を推進しつつ、利用者の利便性が損なわれないよう留意しながら、将来にわたって継続可能な事業運営に努められたい。	コミュニティバス等に対するニーズを把握し、利便性の向上につながるよう事業内容の見直しを行い、市の主要な公共交通として、持続可能で効率的な運営に努める。	従前のとおりとする。  (デマンドタクシーの運行費の増、運行バスの更新等により、事業費が増となったが、今後、市の主要な公共交通として、持続可能なものとするため、現行路線の効率化を進める。)	254,040	225,099	241,026	215,076	13,014	10,023
3	社会福祉協議会福祉活動専門員設置事業補助金  (社会福祉団体等対策事務費) 社会福祉課  評価シート 補助金事業 No. 144	本事業の必要性は認めるが、福祉活動専門員が専門性の高い業務に専念できるよう体制の見直しを図るとともに、福祉活動専門員のスキルアップにつながる方策を講じられたい。 併せて、市は、社会福祉協議会に対する補助金の効果の検証を行いつつ、社会福祉協議会の自主性・自立性を高めるとともに、同会との連携を図り福祉政策の充実に努められたい。	地域の社会福祉の推進に向けて、福祉活動専門員と地域とのつながりの強化を図るとともに、社会福祉協議会が持っている専門性を活用し、より効果的な事業運営に努める。	福祉活動専門員の業務を地域とのつながりを強化する事業を旨とし、社会福祉士等2名の配置を行う。 主な事業 ・地区社会福祉協議会の活動支援 ・ケアネット活動の推進 ・広報、HPの作成、社会福祉大会の運営	7,552	7,552	7,348	7,348	204	204

No.	事業名 (予算事業名) 担当課・事業区分	評価結果及び 概要等	評価結果を踏まえた 今後の方針 (平成27年12月策定)	平成28年度 予算措置の概要等	当初予算額(単位:千円)					
					平成28年度		平成27年度		増減	
					一般 財源		一般 財源		一般 財源	
4	福祉入浴券交付事業  (高齢者いきがい対策費) 長寿介護課  評価 シート No. 167  ソフト事業	高齢化に伴い、今後事業費が増え続けることが予想される。市民のニーズや費用対効果を検証し、廃止も含めて、抜本的に在り方を見直すべきである。 介護保険制度の改正も踏まえ、上で、高齢者福祉の増進に資する他の事業への移行について検討されたい。	今後、対象者の増加に伴い事業費が増大することが見込まれることから、利用券の交付枚数を削減しつつ、入浴施設だけではなく、コミュニティバス乗車や公共施設入館など、その利用範囲の拡充について検討する。	事業廃止により皆減			36,277	36,277	36,277	36,277
5	射水商工会議所補助金 射水市商工会補助金  (商工業振興費) 商工業立地課  評価 シート No. 419  補助金事業  評価 シート No. 420	市内商工業の均衡ある発展のためには、両会が実施している様々な取組は必要であるが、両会の設立の根拠法や組織基盤が異なることから、現状では事業内容の平準化が難しい。 このため、市は、両会の更なる連携強化に向けて「射水市商工業協議会」へ引き続き支援を行うとともに、両会の将来的な一本化について働きかけられたい。また、両会においては、その調査研究に努められることを期待したい。 このほか、担当課においては、補助金の対象となる事業について、実態を把握し、費用対効果について検証するとともに、補助対象事業を精査されたい。	両会の連携強化に向け「射水市商工業協議会」における新規の共同事業の支援を検討するなど、本市における商工業の均衡ある発展につなげる。	従前のとおりとする。	(射水商工会議所補助金) 10,305	10,305	9,577	9,577	728	728
					(射水市商工会補助金) 28,595	28,595	28,820	28,820	225	225
6	小杉みこし祭り事業補助金  (観光事業費) 港湾・観光課  評価 シート No. 446  補助金事業	事業目的を助成すれば、運営主体は行政ではなく地域コミュニティが担うべきである。また、近年はみこしの繰り返しに参加する団体が大きく減少しており、小杉地区の一体感の醸成という所期の役割は終わったと言えることから、廃止を含め、抜本的な見直しを検討されたい。 仮に、存続する場合であっても、行政に過度に依存することなく、運営を地域が担うことを期待したい。	外部評価での指摘事項を踏まえ、小杉みこし祭り実行委員会及び小杉地区の地域振興会における協議において、行政が運営主体となっている現行の小杉みこし祭りは平成28年度限りとする方針が決定された。市は、この方針を尊重するとともに、平成29年度以降の在り方については地域に委ねることとする。	行政が運営主体となっている現行の小杉みこし祭りは、平成28年度限りとし、平成29年度以降は、廃止もしくは、地域主体でのイベントとなる予定である。	5,000	5,000	6,000	6,000	1,000	1,000

No.	事業名 (予算事業名) 担当課・事業区分	評価結果及び 概要等	評価結果を踏まえた 今後の方針 (平成27年12月策定)	平成28年度 予算措置の概要等	当初予算額(単位:千円)					
					平成28年度		平成27年度		増減	
					一般 財源		一般 財源		一般 財源	
7	指定宅地取得支援補助金 (都市計画総務費) 都市計画課  評価 シート No. 500 補助金事業	定住人口の増加につなげるため、効果の検証を行った上で、他自治体との差別化を図った魅力ある制度となるよう、助成基準の見直しについて検討されたい。 併せて、一律の助成とするのではなく、将来的なまちづくりを踏まえ、交付条件や交付金額等にメリハリを付けるなどの工夫に努められたい。 また、定住人口の増加に向けた取組においては、医療や子育て支援など他の事業も含め、総合的な事業展開を推進するとともに、市内外に向けた積極的なPRに努められたい。	本事業においては、補助金の効果を検証し、定住人口の増加及び既成市街地における低密度化の解消につながるよう制度の見直しを検討する。 また、定住人口の増加につながる関連事業の総合的なPRに努める。	従前のとおりとする。  (交付対象見込み額を考慮し、予算額は減額となった。平成27年度に実施した助成金利用者に対するアンケート調査の結果を踏まえ、今後、本事業の在り方について検討していく。)	22,765	22,265	28,170	27,670	5,405	5,405
8	競技団体、地区(校下)活動補助金 (スポーツ団体活動費) 生涯学習・スポーツ課  評価 シート No. 643 補助金事業	活発に活動している団体に重点的に補助金を分配するなど、メリハリのある助成内容となるよう補助基準について見直されたい。 また、各競技団体の活動内容について市が指導・チェックする体制を作り、事業効果を上げるよう努められたい。	事業効果を高めるため、各競技団体の規模や活動状況に見合った補助となるよう活動内容のチェックの実施及び配分方法の見直しを検討する。	従前のとおりとする。  (競技団体について、各団体の規模や活動状況に見合った補助となるよう、基本額を設定し、その外、会員数割と事業費割の額を算出し、合わせた額を補助額となるよう見直しを行う。)	5,350	5,350	5,350	5,350	0	0
合 計					335,007	305,566	363,968	337,518	28,961	31,952